

iPad（GIGA 端末）活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校：指導者：櫻井 昭洋

学年	教科・領域等	単元名・題材名等
3	道徳	三人の仕事

1. iPad 活用のポイント

（１）本時の目標

新しい石橋の建設に力を尽くそうとした３人の村人の考えの中から、自分の考えに近いものを選び、その理由などを話し合う活動を通して、働く時にはどんな思いが大切かを考えさせ、進んでみんなのために働こうとする実践意欲を育てる。

（２）活用アプリ

ロイロノート

（３）GIGA 端末以外で利用した機器

テレビ

（４）アプリの活用場面と目的

☒ オンライン	☐ オフライン
---	--------------------------------

授業での活用場面（授業概要）

ある村で石橋の建設をするために集められた３人の村人それぞれの考えを聞かせ、もしも自分がその場にいたとしたら、３人の考えの中で、どの考えに近いかを選ばせた。その後、ロイロノートを使って、選んだ村人の名前と選んだ理由を提出させた。その際に、村人Ａを選んだ人は青、村人Ｂを選んだ人は緑、村人Ｃを選んだ人は赤のように、提出するテキストの色を指定した。

ロイロノートに提出された画面を全員で共有し、iPad を見ながら自分と同じ考えの人同士で話し合ったり、違う人と話し合ったりする活動を行った。

その後、全体で話し合い活動を行った。その際にも、iPad 上で色別された画面を見ながら話し合いを行った。

色を変えて提出させたために、一目で自分と同じ考えのものを把握することができるため、とても効果的であった。

授業終末での振り返りでも、ロイロノートを使って提出させ、再度、友達の振り返りで考えた内容を共有させた。

2. iPad 活用の画面例（写真等）



・3人の村人のうち、どの考えに近いかを選ばせ、ロイロノートを使って、選んだ村人の名前と選んだ理由を提出させた。

村人Aを選んだ人は青

村人Bを選んだ人は緑

村人Cを選んだ人は赤

と、提出するテキストの色を指定した。話し合いの際には、提出されたロイロノートの画面をみながら、自分と同じ考えの人同士で話し合ったり、違う人と話し合ったりする活動を行った。

・授業終末での振り返りもロイロノートを使って提出させ、友達の振り返りを見ることができるようにした。



3. 効果と課題

（１）iPad（アプリ）を活用して効果的だった点

一斉学習	☒	教師による教材の提示			
個別学習	☒	個に応じた学習	☒	調査活動	☒
	☐	表現・制作	☐	家庭学習	☐
協働学習	☒	発表や話し合い	☒	協働での意見整理	☐
	☐	学校間の交流	☐	家庭学習	☐

・自分と同じような考えの人を一目で判断することができるため、同じ考えの人との話し合いや、同じ考えでない人との話し合いをする際には、即座に話し合いに取り組むことができた。

・全体での話し合いの際にも、「～さんの考えと同じように」と友達の考えを取り上げた発言をする時には、クラス全員が一目で「～さん」が提出した考えを見つけることができた。

（２）iPad（アプリ）を活用して課題に感じた点

一斉学習	☐	教師による教材の提示			
個別学習	☒	個に応じた学習	☐	調査活動	☐
	☒	表現・制作	☐	家庭学習	☐
協働学習	☐	発表や話し合い	☐	協働での意見整理	☐
	☐	学校間の交流	☐	家庭学習	☐

・自分の考えをまとめる活動をするには、児童によってまとめることにかかる時間に差があるため、iPad を使って自分の考えをまとめる活動を何度も行うことで、児童一人一人が慣れていくことが必要であると感じる。また、まとめる活動をするにける時間の設定もよく考えておく必要がある。